

会 議 録

1 会議の名称 第1回学校施設利活用検討委員会

2 会議日時 令和5年2月24日(金) 午後3時～午後4時40分

3 開催場所 川根本町役場本庁舎3階大会議室

4 出席した者の氏名

(1) 委 員 森下洋一委員、川口舞子委員、芹澤慎一郎委員、山田典秀委員、
植田直美委員、鈴木淳二委員、板谷康平委員、西原睦実委員、
森下正章委員、澤西省司委員、佐々木直也委員、
勝間田夏帆委員、鈴木康司委員

(2) 執行機関 事務局 総務課長 山田貴之、
財務管理室 室長 高橋寛明、主幹 久保圭弘、主事 井林三怜
教育総務課長 平松敏浩

(3) そ の 他 傍聴人 3名

5 議題

- (1) 開会
- (2) 委員紹介
- (3) 施設概要について
- (4) その他

6 会議資料の名称

- ・次第
- ・各施設の概要
- ・廃校施設の活用事例集

7 発言の内容（要旨抜粋）

事務局	(1) 開 会 町内の小学校4校、中学校2校を義務教育学校2校に再編予定、この委員会において、今後の利活用の方向性について様々なご意見を伺いたい。対象となる施設は「中川根南部小学校」「中川根第一小学校」、「本川根中学校」そして、既に廃校となって17年が経過している「元北小学校」の4校。委員会の開催は令和4年度においては、第1回委員会、
-----	---

また令和5年度、6年度の2年にかけて、年間4回程度の委員会の開催を計画している。

(2) 委員紹介

=委員ごと自己紹介の後、

委員長に鈴木淳二委員、委員長代理に西原睦実委員を選出=

(3) 施設概要について

事務局 =各学校の施設概要を説明=

委員長 ただいま説明を受けた施設の概要について、委員の皆様から質問等お願いしたい。

委員 各学校の被災歴や背景が分かるといい。あと、第一小学校が藤川地区の避難所になっているが、徳山地区の避難所はどこか。

事務局 徳山地区の避難所は川根高校。藤川地区に避難する施設がないということから、第一小学校を指定避難所としている。

委員 施設利活用をしたときに避難所の指定は継続するか。

事務局 ケースバイケースになる。他の利活用をしても、災害のときは避難所として使えるような対応をとりたい。

委員 施設の概要について説明があったが、実際にその中に入って確認することは出来ないか。

事務局 来年度に入って、そういう機会をつくっていききたい。

委員 耐震診断のIs値がどれくらいだったか教えていただきたい。

事務局 調べて先ほどの被災歴とともに資料として用意する。

委員 河川の区域がどの範囲で、今後その扱いはどうなっていくのか。元北小学校については、この17年間の活用方法や維持管理はどうなっていたのか。

事務局 =河川の区域について説明=

このまま利用していくのであれば、引き続き県に対して、河川占用の許可を求めていくことになる。元北小学校の廃校以後の活用について、グラウンドは地元でグラウンドゴルフをやっていたが、校舎については、今まで活用されていない状況。

- 委員 Is値については、元北小学校が1番心配。利活用もあるが、基準値を下回るようであれば、安心安全のためにも壊してしまうべき。あとはアスベストが含有されているか。含有されているならば一体どこに使われてるか、データで示していただきたい。
- 委員 元北小学校の3階メモリアルホールに在校生がつくった文集などがあるので、別の場所へ移して保管してもらいたい。地元の案として公園にしたらという方もいた。
- 事務局 これから鋭意考えていきたい。
- 委員 島田市では廃校の公募型ということで文科省のホームページに神座小など何校か出ている。元北小学校は、そういった方法もあると思うが、いずれにしろ地域の方が望まない利活用だと長続きしないので、その辺も含めて検討をお願いしたい。
- 委員 元北小学校について、過去に検討した案が実現しなかった理由や経緯を教えてください。予算なのか。
- 事務局 詳細は調べるが、奥泉地区と町だけで話合いをしたため、具体的な案が出てこなかった。あと、試算として耐震補強すると約1億3,000万、解体をするにも約5,000万とか金額をあらかじめ町が地区に示してしまったため、話が進まなくなったよう。
- 委員 いずれにしても元北小学校を何か利用するとなった場合は、改めて試算をやらないと使えないというのは変わらないか。
- 事務局 公の施設なので、利活用するなら耐震補強は避けられないと考えている。
- 委員 今までの話を聞いて、物の捉え方が漠然としていて、このままでは結果が出ないのでは。町は何を望んでいるか、皆さんからどういう要望があって、どんな不安を感じていて、将来的にこうなればいいのか、その為にこの学校をどういうふうに使おうかという入り方をすれば利活用の答えが出てくると思う。
全国の事例資料も読んでみた。ただ事例を見て、安易にそのまま取り入れるのも、ちょっと危険性を感じた。
- 事務局 会議の後半でそういった部分に入っていきたいと思っていた。その議論に入る前に対象となる施設の概要を説明させていただいた。先ほど廃校施設活用事例という話が出たので、そちらの話に移らせていただきたい。
- 事務局 =廃校施設活用事例を説明=
- 委員長 委員の皆様の御意見を伺う前に、町はこの委員会に何を求めているのか、またどん

な意見を聞きたいのか事務局から説明をお願いしたい。

事務局 閉校となることで、普通財産として総務課で管理することになる。その維持費が、年間で1校当たり約500万円かかり、10年間では1億円を超す経費になる。町民の皆様にご利用いただくことが一番大事なことで考えているが、その中で、民間事業者の一部でも利活用してもらえれば、維持管理費を減らすことができ、町の財政負担が軽くなる。そういったことで、この委員会で学校施設の管理の方向性をまず議論していただければと考えている。施設の一部を地域住民が利用できるスペースにするとか、雇用が生まれるとか地域の活性化のために民間の事業者にも利活用してもらおうとか、御意見を伺えればと思っている。

委員長 今の事務局の説明によると、この委員会では、まずは管理方法について御意見を伺いたい。町民が利用する部分は町の直接管理、しかし施設全体となると維持管理費に経費がかかるので、別の視点でも考えていただきたい。校舎、体育館、グラウンドの一部は民間事業者にも任せる、いわゆる民営として維持管理費の一部を負担してもらおうといった御意見等を皆様から伺いたい。まず、新たに廃校となる3校について、御意見あったら伺っていききたい。

事務局 金融機関の方々も島田市など他地域での学校施設利活用の事例の中で、関わった部分があれば御発言をいただきたい。

委員 学校施設利活用委員会に声をかけていただきありがたい。島田市の湯日小学校のグランピング施設の整備には関わりをもった。今後お手伝いできることがあれば、ぜひ協力していきたい。

委員 学校施設の利活用に関わった具体的な実績はないが、組織内で情報を共有し、繋がりを持っていければ。

委員 先日テレビで湯日のグランピング施設が放送されていて、すばらしい施設だと思ったが、そこを利用する人でないと入れないとのこと。外部の人にも使ってもらえるけれども、やっぱり地域の方が活用できる、雇用が生まれ出る、地域とつながった施設になってほしいという希望は持っている。交流が出来たり、気軽に利用出来たり、そういうところになってほしい。

委員 事務局の説明の目的と手段が逆転していて、管理費を目的に話を進めている。まちづくりの話をしているので、その後のメリット、デメリットのところでは維持管理費の話に持っていかないと。

委員 少ないといってもやはり子供は町の未来につながることだから、今子育てしてる世

代が、この町で子育てしてよかったと思えることがすごい大事だと思う。そこに誰でも入れるという要素があったらいいと思っていて、キーワードは、いつでも、誰でもだと思う。図書館、児童館の機能はただ行く目的になる。あとは交通手段のないお年寄りや子供たちがもっと自由に使えるバスなんかがあるとすごいありがたい。

委員 野外体験施設の機能を持たせてはどうか。学校の子供たちや他からも呼ぶことができるし、先程出た子育て支援施設とか図書室とか散らばっているので、それを1ヶ所にまとめるのもいい。関係人口を増やす施設になったらいい。

委員 子育て世代の希望としては、やはり子供たちが多い地域になってほしい。公園がない、子供たちの交流の場が少ないという話もよく聞く。今後の川根本町のことを考えると、若い世代を増やしていけば、未来の川根本町のためになるのではないかなと思っていて、移住者の方々に来ていただけるよう町の魅力を発信出来たりとか、あと若い年代でも外に出ていく人たちを川根本町にとどめておくような雇用が生まれたり、子供たちのための施設が必要だと思う。あと観光は強みを持っているので、それも絡めた施設が出来ればいいのかないかなという気はする。

委員 事務局に質問ですが、島田では、公募と同時に地域住民が利活用を考えることが同時並行に行われてるのか、地域住民が利活用について考える会があるのか。

事務局 具体的な活用の内容まで決めていないが、まちづくりに協力してくれる外部の事業者任せようという方向性を決めた上で公募をしている。

委員 それならば例えばこの委員会が方向性だけとりあえず決めて、例えば観光関係の民間事業者を呼びたいという条件を決めて、公募をしているということですね。

委員 この議論の仕方では話がまとまらない。今日この会が自分の思いを言えばいいという話だったらいいが。

委員 この委員会で何を結論として出せばいいのかということがもうちょっと見えてくるといい。散々話し合ったけど結局蓋あけたら、どこかの民間企業が違うことをやっていたら、なんだということになるし、その辺の兼ね合いも含めて、この利活用検討委員会がどういう位置づけなのかというのを示していただくとありがたい。

事務局 町政懇談会でもそういった発言をいただいたが、現段階において、実現性の高い現実的な話はまだ聞いていない。まずはこの委員会で町民の方から御意見を聞くところから始めたいということで、皆様の考えられていることを聞いた上で次の方向に進めていきたい。

委員 公募はあくまでも選択肢の一つであって、学校というのは歴史があり、思い出の場所でもある。だから、新規参入してもらって雇用を増やすのも手段だけども、地区ごとに持ち帰って、区長さんにこの話を取り上げてもらう。管理費の問題は二の次。趣旨と目的をしっかりと決めて、進めていただきたいと思う。

委員長 いろいろ意見が出たので、今までの意見を事務局でまとめていっていただきたいと思う。時間的に元北小学校の議論はどうするか。

事務局 元北小学校につきましては、耐震性の問題、アスベストなどについて確認し、次の委員会までに資料を用意したい。

今回、第1回目の委員会ということで、皆様からいろいろなお考えを伺った。町としても今後の進め方について、もう一度考えていきたい。この会議の報告を議会の全員協議会や区長連絡会などの場で報告するので、その上で、区長の御意見を伺うとか、そういった方法も含めて考えていきたい。

認識の共有をさせようとして、本日は対象となる4施設について、概要を説明した。次回には、実際に施設を見ていただく機会も設けたいと思っている。

委員長 やりたいことを言うだけでは、まとまっていくのはなかなか難しいと思うので、とにかく管理運営していく人を誰に任せるか、その辺を煮詰めていかないといけない。自分も今日の会議を振り返って、次回の進め方を考えながらやっていきたい。第2回委員会の開催時期について、事務局から説明をお願いしたい。

事務局 5月下旬か6月上旬で開催を予定している。

委員長 それでは、これで第1回の委員会を閉じさせていただきたい。本日は活発な御意見本当にありがとうございました。またよろしく申し上げます。

閉 会